

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 23 年 2 月 17 日 (2011.2.17)

【公開番号】特開 2009-169235 (P2009-169235A)
 【公開日】平成 21 年 7 月 30 日 (2009.7.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-030
 【出願番号】特願 2008-8970 (P2008-8970)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 21/00 (2006.01)

G 0 2 B 21/36 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 21/00

G 0 2 B 21/36

【手続補正書】
 【提出日】平成 22 年 12 月 27 日 (2010.12.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

各種光学部材の駆動により観察状態を変更可能な顕微鏡システムであって、
複数の顕微鏡操作項目を含む顕微鏡操作来歴に係る来歴データを記録する来歴記録手段
 と、

前記複数の顕微鏡操作項目の中から一つ以上の顕微鏡操作項目を選択する選択手段と、
前記選択手段により選択された顕微鏡操作項目と前記来歴記録手段に記録された来歴デ
ータに係る顕微鏡操作来歴とに基づいて顕微鏡状態を再現する状態再現手段と、
を有することを特徴とする顕微鏡システム。

【請求項 2】

前記顕微鏡システムは、観察体を照明するための光源を調整する手段、前記観察体を載
置するための電動ステージ、及び前記観察体の画像を撮像するための撮像手段のいずれか
を含み、前記顕微鏡操作項目は、前記顕微鏡システムの光源の明るさ、観察倍率、観察方
法、前記標本の光軸方向と平行方向の座標、前記標本の光軸方向と直交する同一方向の座
標、及び前記撮像手段の撮像条件のいずれかを含むことを特徴とする請求項 1 記載の顕微
鏡システム。

【請求項 3】

前記撮像手段により撮像された画像を表示する表示手段と、
を更に有し、
前記来歴記録手段は、更に前記撮像手段により撮像された前記観察体の画像に係る画像
データを記録すると共に、前記来歴データの記録と前記画像データの記録とを同期して行
う、
ことを特徴とする請求項 2 記載の顕微鏡システム。

【請求項 4】

前記状態再現手段は、更に、前記来歴記録手段に記録された画像データに係る前記観察
体の画像を前記表示手段に順次表示させ、再現指示が行われた時に前記表示手段に表示さ
れていた画像を選択し、当該選択した画像に応じて顕微鏡状態を再現する、
ことを特徴とする請求項 3 記載の顕微鏡システム。

【請求項 5】

前記状態再現手段は、更に、前記来歴記録手段に記録された複数の画像データに係る前記観察体の複数の画像を前記表示手段に一度に表示させ、当該表示された複数の画像の中から一つの画像を選択し、当該選択した画像に応じて、観察状態を変更させる顕微鏡状態を再現する、

ことを特徴とする請求項 3 記載の顕微鏡システム。

【請求項 6】

前記状態再現手段は、選択条件入力手段を更に有し、前記来歴記録手段に記録された複数の画像データに係る前記観察体の複数の画像を前記表示手段に一度に表示させる際に、前記選択条件入力手段により入力された選択条件に応じた画像を表示させ、当該表示された画像の中から一つの画像を選択する、

ことを特徴とする請求項 5 記載の顕微鏡システム。

【請求項 7】

各種光学部材の駆動により観察状態を変更可能な顕微鏡システムの制御方法であって、所定の顕微鏡操作が行われる毎に、複数の顕微鏡操作項目を含む顕微鏡操作来歴に係る来歴データを記録し、

前記複数の顕微鏡操作項目の中から一つ以上の顕微鏡操作項目を選択し、

記録された来歴データに係る顕微鏡操作来歴と、選択された顕微鏡操作項目とに基づいて、顕微鏡状態を再現する、

ことを特徴とする顕微鏡システムの制御方法。

【請求項 8】

各種光学部材の駆動により観察状態を変更可能な顕微鏡システムのコンピュータに、所定の顕微鏡操作が行われる毎に、複数の顕微鏡操作項目を含む顕微鏡操作来歴に係る来歴データを記録する機能と、

前記複数の顕微鏡操作項目の中から一つ以上の顕微鏡操作項目を選択する機能と、

記録された来歴データに係る顕微鏡操作来歴と、選択された顕微鏡操作項目とに基づいて、顕微鏡状態を再現する機能と、

を実現させるための制御プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するため、本発明の第 1 の態様に係る顕微鏡システムは、各種光学部材の駆動により観察状態を変更可能な顕微鏡システムであって、複数の顕微鏡操作項目を含む顕微鏡操作来歴に係る来歴データを記録する来歴記録手段と、前記複数の顕微鏡操作項目の中から一つ以上の顕微鏡操作項目を選択する選択手段と、前記選択手段により選択された顕微鏡操作項目と前記来歴記録手段に記録された来歴データに係る顕微鏡操作来歴とに基づいて顕微鏡状態を再現する状態再現手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、本発明の第 7 の態様に係る顕微鏡システムの制御方法は、各種光学部材の駆動により観察状態を変更可能な顕微鏡システムの制御方法であって、所定の顕微鏡操作が行われ

る毎に、複数の顕微鏡操作項目を含む顕微鏡操作来歴に係る来歴データを記録し、前記複数の顕微鏡操作項目の中から一つ以上の顕微鏡操作項目を選択し、記録された来歴データに係る顕微鏡操作来歴と、選択された顕微鏡操作項目とに基づいて、顕微鏡状態を再現する、ことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、本発明の第8の態様に係る制御プログラムは、各種光学部材の駆動により観察状態を変更可能な顕微鏡システムのコンピュータに、所定の顕微鏡操作が行われる毎に、複数の顕微鏡操作項目を含む顕微鏡操作来歴に係る来歴データを記録する機能と、前記複数の顕微鏡操作項目の中から一つ以上の顕微鏡操作項目を選択する機能と、記録された来歴データに係る顕微鏡操作来歴と、選択された顕微鏡操作項目とに基づいて、顕微鏡状態を再現する機能と、を実現させることを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】